

令和5年度 熊本デザイン専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 : 令和5年5月26日(金) 11:00~12:00 (60分程度)

会 場 : 熊本デザイン専門学校 501教室

出席者 : 16名

評価委員 (7名)

西山 喬 様	(総合企画株式会社 会長)
有田 満里子 様	(有限会社有田 代表取締役社長)
川口 滋 様	(くまもとデザイン協議会 会長)
田中 千秋 様	(株式会社放送技研 代表取締役)
島村 徹 様	(一般社団法人熊本県建築士事務所協会)
吉田 悠紀 様	(在校生保護者)
内村 友造 様	(卒業生・同窓会会長)

学校側出席者 (9名)

内藤 謙一	(学校長)
徳村 尚晃	(事務局長)
千田 浩一	(教務部長、建築・インテリアデザイン科 主任)
児玉 守	(副教務部長 メディア映像デザイン科 主任)
松本 雪	(ファッションデザイン科 主任)
児玉 竜也	(グラフィックデザイン科 主任)
坪根 涼	(入試広報課)
藤本 翔太	(就職課)
平野 恵子	(書記)

議 事 : ◇ 校長挨拶

開会にあたり校長より挨拶を行った。

◇ 評価委員並びに学校側出席者自己紹介

教務部長より、それぞれ出席者の紹介を行った。

◇ 学校概要説明 (千田教務部長)

- ①沿革の概要
- ②各学科学生数構成
- ③学生募集の状況
- ④就職状況
- ⑤令和4年度活動、特徴的な取り組みについて
- ⑥2学期制へ変更に伴う年間ターム構成について

◇ 自己評価結果報告

千田教務部長より、自己評価について説明。

これ迄は、職員が各々4段階で評価した後、平均点で最終評価としていたが、主観の相対平均にしかならないことから、今年度より各々担当分掌内で自己評価を行い、その評価のエビデンスを明示することとなった。

自己評価結果について、評価を行った各分掌から以下について説明を行った。

1. 教育理念・目標

1) 理念・目的・育成人材像

教育理念（建学の精神）・目的・目標・育成人材像が明文化されているか。
職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか

2) 教育の特色

社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか

2. 学校運営

1) 運営方針

運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか

2) 事業計画

事業計画を作成し、執行しているか

3) 運営組織

運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか

4) 教職員の評価・育成

教員及び局員の能力評価・能力向上に向けた取り組みを行っているか

5) 人事・給与制度

人事・給与に関する制度を確立しているか

6) 情報システム

情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

1) 目標の設定

教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか

2) 教育方法・評価等

各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか

3) 成績評価・単位認定等

成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

4) 資格・免許取得の指導体制

資格・免許取得のための指導体制があるか

5) キャリア教育

基礎的・凡庸的能力

①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・管理能力、③課題対応能力

④キャリアプランニング能力を身に付けるための取り組みが実施されているか

4. 学修成果・教育成果

1) 学修成果

各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか

2) 就職率

就職率の向上が図られているか

3) 資格・免許の取得率

資格・免許取得率の向上が図られているか

4) 社会的評価

卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

5. 学生支援

1) 修学支援

学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか

2) 就職等進路指導

就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか

3) 学生相談

学生相談に関する体制は整備されているか

4) 学生生活

学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか

5) 中途退学への対応

退学率の低減が図られているか

6) 保証人（保護者）との連携

保証人との連携体制を構築しているか

7) 卒業生・社会人支援

卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか

6. 教育環境

1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

2) 学外実習、インターンシップ等

校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか

3) 防災・安全管理

防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか

7. 学生の受入れ募集

1) 学生募集活動

学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか。

2) 入学選考

入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

3) 学納金

学納金は妥当なものとなっているか

8. 教育の内部質保証システム

1) 関係法令、設置基準等の遵守

法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか

2) 個人情報保護

個人情報に関する規定を整備し、個人情報に対する対応を取っているか

3) 学校評価

自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか

4) 改革・改善

各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか

5) 教育情報の公開

教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか

9. 財務

1) 財務基盤

学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか

2) 予算・収支計画

予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか

3) 監査

財務について会計監査が適正におこなわれているか

4) 財務情報の公開

私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか

委員の意見等

1. 教育理念,目標

- 学校の教育理念・育成人材像等について、関係者への周知は的確に行ってもらいたい。
- 近年の社会情勢は激動・激変とも言える状況だと思う。専門学校として変化の機微に通じていくよう心掛けてほしい。

<今後の改善、方針等>

教育理念、教育目的、育成人材像等については、学生便覧や HP、パンフレット等に掲載し内外に周知している。年度の節目の行事等、機会あるごとに職員や学生への再認識も意識して行っている。今後も引き続き、定期的な検討・検証と周知と確認を徹底していきたい。また、教員が最新の情報を得られるよう、研修等も充実させていきたい。

2. 学校運営

- 専門スキルを有した教員の確保は重要。採用制度については十分な検討の上、明確化した方がよい。
- 学校運営の効率化を進め、教職員が学生個人に対応する時間が増えるよう図ってほしい。

<今後の改善、方針等>

これ迄は、欠員募集という形の採用活動が中心に行ってきた。今後は、学校の将来像を見据えて、補うという視点だけではなく、必要なスキルや資格を各学科で明確化し、必要となる人材という点を重視した採用活動を行っていきたい。運営においては、校務運営統合ソフトの導入を進めているところである。

3. 教育活動

- 学校の育成人材像と並行して、ディプロマ・ポリシーやアドミッション・ポリシー等も周知していくべきだと思う。
- 授業評価についてのアンケートデータを有効に活用して欲しい。
- コロナウィルスの影響により、学校行事等も多く制約を受けたものと思うが、今後はできる限り正常化に向けた取り組みをお願いしたい。

<今後の改善、方針等>

「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」についての明確な表記が HP などで行われていない。今後、積極的に掲載していきたい。また、教育方法・評価法については、年2回の授業アンケートが主な評価手段となっているが、今後は、異なる視点でより客観的な評価を行い、改善に繋げていけるよう体制を整えていきたい。

4. 学修成果・教育成果

- 卒業生の就職後の活躍や評価を把握し、情報共有を行って欲しい。
- 資格や検定、コンペ等の実績の公表が曖昧のように感じる。もっと積極的に PR していただくべきだと思う。

<今後の改善、方針等>

学修成果、就職、資格取得については、教務部・就職課・事務局が日常的に活発に情報共有し、協力し合って学生を支援する関係性ができている。卒業生の社会的評価については、今のところ定まった把握・記録の態勢はない。しかし、担任・科目担当・就職担当など、在学中に関わりのあった職員を中心に、SNS や学校行事、在校生の就職活動を通じて情報収集し、ある程度は把握している。今後はそれを定期的に行い、記録していく仕組みづくりの取り組みが行われているが、今後は、学内全体で合格率向上に向けた検討協議できる仕組みを設けていきたい。

5. 学生支援

- 学生が安定した学生生活を送ることができるよう組織体制を確立し、有効に機能するよう取り組んで欲しい。また、卒業生に対する卒業後の支援体制等も確立して欲しい。
- 保証人（保護者）との連携は十分とれていると思うが、中には学生任せの保証人もいると思われる。その層に対しての情報発信もよろしくお願ひしたい。

<今後の改善、方針等>

修学支援、学生生活、学生相談、中途退学への対応、就職進路指導、保証人（保護者）との連携については、主に担任が窓口となり対応している。まずは、当事者から十分にヒアリングし、本人の意思を確認して対応している。内容に応じて他分掌とも連絡を密にするよう注力しており、今までのとこと大きな問題となることはなく機能している。卒業生・社会人支援については、これまで卒業生個別の相談を職員が個別に窓口となって受け、場合によって職員の判断で就職課等と連携して対応している。これからは職員個人任せではなく、記録・分析する仕組みづくりなど、システム導入も含めて検討していきたい。

6. 教育環境

- 学内の施設・設備においては、更新・整備を計画的に行ってもらいたい。
- 各学科の参考書籍等は学生が閲覧しやすいように配慮してほしい。
- 緊急時の対応については、地震・火災など様々な状況に応じた適切な避難が行えるよう想定範囲を広げておいてほしい。

<今後の改善、方針等>

教育環境整備については、電子黒板の導入など、学生がより学びやすい環境を整えている。施設の問題もあり参考図書や関連図書は満足できる設置ができていないが、極力設置場所を確保し、導入を検討していきたい。安全管理については、防火管理者を選任し、避難訓練も実施しており、学生の安全管理については今後も徹底していく。

7. 学生の受入れ募集

- 入学予定者に対して、入学前教育等を行うことも必要になっているのではないか。
- 学納金について、今後も精査しながら検証して欲しい。

<今後の改善、方針等>

入学予定者に対し、学習指導・支援等について、入試期間が長期に渡る為、同じ時期に入学予定者を集めるのは難しいが、入学後の学修修得状況を考えると、何某かの対策を講じる必要がある。また、学生募集のメインツールにあたるパンフレット・募集要項を通じて入学に必要なスキル、資格等の情報提供も同様である。また、広報日報を定着させることでより効果的な学生募集に繋げると共に、同一部署内だけでなく全部署での情報共有の強化を図る。また、教材費関係に関しては、事前に明示できものそうでないものがある為、昨年の実績として教材費の詳しい内容などHP等に明示。引き続き、学生校納金に関しては、税率変更や物価等の影響を考え適切な金額を設定する必要がある。

8. 教育の内部質保証システム

- 自己評価結果については、ホームページ上で公開されており、評価方法についても毎年見直しが行われているので良好と思われる。
- 個人情報の保護について、プライバシー等、定められて周知されているが、定期的な見直しも必要である。

<今後の改善、方針等>

教育の内部質保証については、職業実践専門課程の認定に伴い順次対応を行っているが、個人情報保護については各学校で独自の管理を行っており、統一化されていない。今後、情報管理システムを導入し、一元管理を行うとともに、管理体制を階層化し、責任の所在を明確にして管理を徹底していきたい。

9. 財務

- 安定した教育活動を遂行するために必要な財政的基盤はもとより、中長期的な計画は策定しているか。

<今後の改善、方針等>

ここ数年の入学者増により財政基盤が安定化してきて、施設設備投資や待遇改善も出来るようになってきた。ただ、中長期的な計画についてはまだ不十分であり、今後は3年後、5年後を見据えた計画を作成し、実行できるような体制を整えていく必要がある。